昭和廿一年六月一日
（第三種郵便物認可）

いわき民報

所行發
いわき民報社
（第一八三番）地番一町田市平
人行發兼編輯　千輝克巳
人刷印兼
日刊（但月曜日を除く）
定價一ケ月五円　一部一円十二錢

高級檜建具販賣
板戸、障子、其の他
六人高戸　お需めに應ず
平市二丁目
平土地住宅有限會社
電二〇二・二〇八

非常用イモ千俵を確保

市の食糧對策委員會で決定

平市食糧對策委員會初委員會は八日午後二時から市役所會議室に招集引續き九日も開催本年度大麥、小麥、馬鈴薯の供出割當救援米並本年度產麥類供出報奬用肥料特配、受配農家の決定並に承認等に就き協議した、二十一年度供出割當量は左の通り

▼大麥四三七石（一〇六四俵）▼小麥一一一八六石（二五八俵）▼馬鈴薯三八八九五貫（二五九三俵）

端境期食糧對策としては非常用馬鈴薯一千俵（一五〇〇〇貫）を確保していざの場合に市民に配給する事に決定したが之れが保管問題は生產者に委任、廚收並に其の時の價格等は後日に讓る事になつた、尙救援米及本年產麥類の特配肥料は縣の指令を促進する事とし、供出量は大豆の代替をも認め、特配は有償とし、一ケ月以内に配給する、糖化加里は魚肥のない場合及び完遂者たる事等を條件に又受配農家の決定並に承認の件は委員會の協力に委囑することとし方部に代表者を決める等を決定した

麥薯類の部落割當

湯本町の本年度の大小麥及び馬鈴薯の各部落割當は別項九日の食糧對策委員會で左の如く決定された（單位俵）

	大麥	小麥	馬鈴薯
高倉	三六	五七	六〇
宿内上	四二	二八	六〇
宿内下	三六	一四	五〇
諏訪ケ崎	二八	一一	四〇
千代鄕	三六	二〇	六〇
瓶ノ尾	三四	二〇	六〇
計	三二六	二〇八	五三

本格的の夏型

陰氣なお天氣も今日限り

今夏は例年よりも高温

小名濱測候所發表			
寶海	四一	四三	七三
榮田	二八	九	五〇
上關	二五	九	四五
塚越	二〇	七	三五

月初めからくずれ出したお天氣測候所の觀測によると、日本海に水不足も辨酒、憂慮された田中部にある千四百ミリバールの植えも一町歩殘らず終了、万歲低氣壓も太平洋岸銚子沖にある低氣壓も共に時速四十キロ程度の代替をも認め、特配は有償とし、一ケ月以内に配給する、糖化加里は魚肥のない場合及び完遂者たる事等を條件に又受配農家の決定並に承認の件は委員會

この梅雨型のお天氣も遲くて明日頃迄で、早ければ明朝から遲くも明日の午後からは回復、完全な夏型の天氣とならうとあり尙今夏は前年あたりよりもやゝ溫度が高く米作等にも又海水浴等にもお誂向の夏とならうとのことである

▼渡邊支部山田眞一（二一三世帶三名）▼鹿島支部白土久吉（九世帶二二名）▼大野支部須藤又七郎（三七世帶七五名）▼大浦支部賀澤久義（三〇世帶七五名）

引揚聯盟四村支部

磐城聯盟渡邊鹿島の兩支部は去る三日、大野大浦の兩支部は九日何れも結成されたが支部長は左の通り

布靴類配給

市配給課では戰災者引揚者及び一般用に左記日用品を配給する濱物用桶（三八圓）一〇〇〇ケ十日から二十日迄、障子紙（五圓六十一錢）二〇〇〇本、十三日から十四日迄共に戰災者及引揚者用、ズック靴（三九圓二十錢）一萬個職域末端配給一般に配給、ズック靴、障子紙は地區統制組合で濱物用桶は西部（才槌小路助川彌）東部（五丁目大内近雄）、中央部（十五丁目佐川桶屋）各商店で夫々配給する、

濱物用の桶等も

場合に依つては闘爭を繼續の腹

三浦委員長等郡山へ急行

待遇改善を叫ぶ全遞の爭議は七日夕刻三浦芳勝本部長と中山好月案の承認により十一日解決の報に接したが、平局に本部を置く濱通り地區闘爭本部では、解決案の骨子が上位者には兎も角下級者には滿足感を與へず殊に特定局あたりは極めて憂慮が少いとあり、十一日植田地區並に久ノ濱地區大會では明かに不滿の意が表明せられたが、一應縣代表委員の歸來を待ちその報告に依つては極めて強硬なものがあるので報告の如何によつては敢然闘爭を繼續するものとみられ成行き重視されてゐる

土方與志氏來演

小名濱文協の招請に依り

各濱に跼けて遲しく發足した小名濱町文化協會では十三日新劇界の權威土方與志、三島章藏の兩氏を招いて午後七時半から第一國民學校講堂に文化講演會を開催するに決定した、尙同協會では土方氏等の都合によつては二、三日滯在を乞ひ、濱の實情をみて貰ひ今後の文協の進むべき方向、在り方その他についての指導をも乞ふ計劃でゐる

湯本食糧對策委員會成立ず

湯本町の食糧對策委員は九日夫々依囑した、尙本年度の大小麥及び馬鈴薯の供出割當は大麥三百二十五俵で前年より百七十九俵增、小麥二百八俵で六十二俵減、馬鈴薯は五百三十俵とある

▼委員長矢吹莊司▼委員矢吹莊司（農業會長）新妻稔（食糧營團）鯨岡一馬（町公吏）志尾崎忠德（全）▼芳藏治（生產者）高原雄吉（全）國井博（全）志尾崎德衛（全）塚本忠一（湯本礦）矢野三男（白煉瓦工場）鯨岡潔（引揚協同組合長）大關智策（引揚者互助會長）佐藤直幸（戰災者親和會長）岩崎忠次郎（日農）武藤武雄（湯本礦勞組長）中野良三郎（全礦勞組員）渡邊兼太郎（全）富一勝秀（石城地方食糧對策委員）渡邊長作（町議）大橋正（全）

干燥山菜分割保管

粉食用の干燥山菜類の湯本食營出張所保管の二千八百貫は九日の食糧對策委員會の結果左の如く各町内會へ分割保管することに決した

湯本礦一四〇〇貫、品川白煉瓦三五〇貫、鐵道三〇貫、町内會一〇二〇貫（一町内會六〇貫の割）

市の多額議員有權者

全部で三十一名

平市四日に施行される多額議員の補欠選擧に該當者を調査中であつたが今回は土地、商業、工業に就き二千五百圓以上の納稅者とあり範圍が極限されたので、市内の有資格者は左の三十一名となつた（順不同）

山田茂一郎、木田四郎、根本清三、諸橋久太郎、百澤易正、飯田近治、鈴木新右エ門、白土茂平、根本善吉、坂本昌藏、大谷傳、片寄弘文、吉田直吉、大谷傳長、渡邊秀行、百澤易興、佐藤幸太郎、關内榮助、山崎興三郎、柴田德二、根本亮輔、橋本德治、堅田欽次、島田勝吉、武田德治、山田文一、阿部唯次郎、山崎賢助、横山萬藏、松本德一、堀江正茂、佐々木熊吉

大道異變

平中　青二

▼『女生徒の頭に撒布するやうに』と警察署を通じてDDTが配給になつた。進駐軍の厚意がこゝまで徹底しようとは、恐らく誰も豫期しなかつたことであらう。

▼洵に有難いことである。しかし感謝に堪へないと思ふだけでは駄目。シラミ撲滅に努力せねば、貴重な藥品を無にするだけでなしに、米軍の尊敬すべき偉大なる愛情を無にすることになる。

▼愛情に感激し、お互の深い愛情に生きることの出來る者は幸福であり、人生最大の喜びであり、希望である。

▼或る地方ではシラミのことを『マンドリン』と稱してゐる。このマンドリン一族にとつては女子の頭は、父祖傳來の安全の天地であつたらうから、DDTの撒布には、少なからず脅威を覺え、迷惑千万な話だと親族會議を開いてゐるかも知れぬ。

▼併し、人間の生血を吸ふものは、例へ人間たりとも許すべきでないから、マンドリン野郎に同情すべき筋合は毫もない筈だのに處もあらうに、頭の上に棲む

▼DDTの恩澤に浴せぬ人は、癩癩ですき落して、火鉢でもよし、爪の先で潰すのもよからう齒でかみ殺す――などは寒々として凡そ人間たるものは誰もやるまい。失禮々々。

いわき寸言

▼市の食糧委員會非常用の馬鈴薯一千俵を確保するとある、市民に與へる安心は大きい、だが安心感のみでなく實質的にも範迄市民の文化講演會を開く濱の文化向上こそ今日最も望ましいところ文協當事者の熱意に厚く敬意を表す

▼草野農業會の理事辭任問題紛糾、日出度し〳〵食糧危機の叫ばれる折柄感情問題等で咬み合ふのは愚の骨頂、再び繰返さぬやうきつと祈り度く

▼いよ〳〵本格的夏來るとある時節柄傳染病に御用心

開業御挨拶

東京都に於て開業中戰災により施設一切を失ひ、昨年七月より十月まで鎌田町金成醫院に二時勤務して居りましたが此の度再起し左記に於て開業一般診療に從事致して居りますから宜しく御指導願ひます

外科、内科
耳鼻咽喉科
平市柳町四番地
高城醫院
女醫　高城節

開業
診療
内科
小兒科
性病科
鎌田町（舊白土醫院跡）
矢吹醫院
矢吹大二郎
電八二八番

建築資材、建築金物
復興資材、生必物資
格安斡旋提供
食糧品類等其他
商事部創設
◇地方代理店特約店急募（御報呈規約）
平市田町五
平土地住宅有限會社
商事部
電話二〇二番

失火御詫び

十一日午前九時當工場出火の際は早速御斯付の上消火に御盡力戴きお蔭を以て僅かに二坪程の小火にて鎭火致しました本來なれば拜趨御禮申可ですが混雜の爲御尊名洩れを恐れ取敢へず以紙上厚く御禮申上ます
尙時節柄御騷せ致し申譯なく併せて深く御詫び申上ます

昭和二十一年七月十二日
平市田町五一番地
白榮舍ランドリー　伊藤眞一

この有様をどう見る？

就職希望は失業者の八分の一

〝失業〟の文字は本紙に大きな不安と焦燥を物語り立つているが、さて市郡下の失業群の實態はどうか？――本紙勤勞署が五月末日現在と同十五日現在の就職希望調査と就業希望調査の集計結果を比較検討すると、或る程度現在の社會情勢が明瞭に眼前に描き出される一方の調査で失業者が六千名も數へるのにさて就業したいとの希望は僅かに七百名足らずとあるのはどうした關係からであらう？単に失業者群の大部分が、流行もの、商人、ブローカーに顯著したいためであらう？或は他に何か原因があるのであらう？頗る興味ある問題であると共に又見逃じ得ぬ問題でもある、この問題をどん底迄探究せずしされず就職問題の解決も出來得ぬのである、右について勞勤勞署の觀測を聽いてみる――

失業者實數は六千

大部分は軍からの復員者

失業者は終戰と共にどつと洪水の如く氾濫しその總數は男二萬三百一人の計五千九百九十三人となつてゐる、就職不能者又は再統制が實施されないと、一時的に失業者の氾濫はなく、農漁村、都市その他の潜在者の抱擁力の縮減につれて輕々に現はれるのではないかとみられる、その急激な現象が大都市に於いては現在如實に展開され始めてゐるのは見逃せぬ――

それも一つではあるが、然し失業者の過半數は農村、漁村、都市にある場合には學校に學生として潜在し適當な就職の機會を待つものがあるのに依るとみられる、かく觀測すると現在の食糧問題と何等かの意味での商業の

求職者はみな眞劍

この樣な結果から最近の家族持ちと智識階級の人が多いかに就職希望者は比較的年長者の家族持ちと智識階級の人が多いかを物語つてゐる、この情勢は日本再建のため喜ばしい傾向であるが然しその眞摯にひきかへて希望職種をみると未だに事務系統が多いのは一考すべきである、もつと生産に直接した勞働面に對する熱意を燃すことが肝要であるとある――

▼軍復員一五八一六五人▼工場事業所の整理に依るものは男二、一九四人、女一、一八六人、計三、八〇人▼外地引揚男一、七一九人、女二、五五五人、計三、二七四人▼戰災者男四、九三九人、女五、八一五人、計一〇、七五四人▼其他男八二九人、女五六三人、計一、三九二人――

右の通りであつて、その後の動向をみると――

▼原職復歸男九、一三八人、女四三五人、計九、五七三人▼歸農者男五、一一一人、女一、八九九人、計六、一〇人▼勤勞署斡旋就職男一、六八三人、女四一一人、計二、九三人▼個人斡旋就職者男一、八一二人、女五、四四五人、計二、三五六人▼就職不能又は不要者男二、四一〇人、女五、五二九人、計七、九三九人となり以上を差引くと廣の失業者は男四千六百九十二人、女千三百一人の計五千九百九十三人となつてゐる、就職不能者又は不要者中男は老人又は金持ち階級であり女は家庭の主婦又は家事の都合上就職し得ぬものとある

就職希望は僅か七百

他は何で生きてるこれらの中就職希望調査に表はれたものをみると男四百八十四人、女二百五十八人の合計僅か七百四十三人といふ少數で、更らに中等學校以上の卒業者は男百七十三人、女三十六人の計二百九人あるばかり、さてさきの失業者實數との就職希望者を比較するとそのひらき五千二百五十人は見にも有にも何等かことゝなつてゐるが、その行方は何處か思へば不思議極まるものではある

農漁村面の抱擁力漸減

この傾向は一見すると〝闇〟に生きるともみられるが、確かに大都市に於ける失業者の過半數は農村、漁村、都市にある場合には學校に學生として潜在し適當な就職の機會を待つものがあるのに依るとみられる、かく觀測すると現在の食糧問題と何等かの意味での商業の再統制が實施されないと、一時的に失業者の氾濫はなく、農漁村、都市その他の潜在者の抱擁力の縮減につれて輕々に現はれるのではないかとみられる、その急激な現象が大都市に於いては現在如實に展開され始めてゐるのは見逃せぬ――

内郷町食糧對策委員會

内郷町食糧對策委員會は去る九日委員決定と同時に九時から同町役場會議室で初委員會を開き、大要、小麥、馬鈴薯の割當査定を協議した

▼委員長根木定治（町長）▼副委員長金澤龜雄（助役）▼委員（農民組合代表）加藤木誠一郎（消費者代表）青野要市（鑛夫組合代表）外四十余名

投書

投書を歓迎す　要望批判結構　紙上匿名可

續綠陰片々

▼…私の長兄學城十郎君は、社會主義や共産主義を怖れることは、病者が醫者を怖れるやうなもので、食はず嫌いと同じだといつたことがあるが面白い言ひ裝し方だ。

▼…動物は子供を産めば死に、植物は種が出來れば枯れる、子供が嫁を貰へば親より可愛くなるのも道理だ。

▼…六月十五日の朝日新聞に、米國の新聞記者が日本の女醫と結婚し、男兒をまうけ、本國に送還、戰線に馳驅するうち、妻が肺病になり、終戰と同時に飛ぶ樣に妻の病床に駆け込んだがキニ環礁で、世界最初の原子爆彈の實驗が行はれた、世界も遠い日本の父親に幸福を與へるであらうと云ふ。

▼…七月上旬マニラ陥落ビルマ奪還、クローデル氏はかう書いてゐる、私の長年住み、且つ愛した日本は敗けた、今後日本の進路はどんなに苦しいものであらうとも、しかし富士の姿は不滅の生命を私達人に捧げてつくし果高な美をあり、日本國民の勤勞は此の世を去りたまふのである、文化線は統制は厳しい、軍閥二切を子のために捧げつくして喜びつゝ、ほゝえんで下さる親である、悲しけれど親の死は嘆きの中にあるのである。

▼…日本の女性よ、勇敢に、大地に多の足を踏みつけて、若き名藥を去り一歩一歩前進すべきだ

（三森虎樹）

▼…ウンス駐日大使夫人ローズ、ケネディ氏はかう書いてゐる、私の父母の老いることなくし自分や愛兒が入る爲めでなく、父の位牌を入れる爲めでなく、功成り名遂げ、而も親に孝行を盡せば人間は幸福だ、

▼…七月上旬マニラ陥落ビルマ奪還、キニ環礁で、世界最初の原子爆彈の實驗が行はれた、世界も遠い日本の父親に幸福を與へるであらうと云ふ。

▼…日本の女性よ、勇敢に、大地に多の足を踏みつけて、若き名藥を去り一歩一歩前進すべきだ

（三森虎樹）

生活

石城歌話會への期待

高木一愛

過日いわき民報に小名浜沖いと聞く。その上會社炭鑛其の他の諸團体には統制された文藝部が組織されつつあり、昨七日には所謂新人の歌會を平市公會堂で白木氏が主催した筈だ。これ等を全部一堂に集めた『石城歌話會』こそ終戰後の絢爛と言はるべきだ。我等は平和文化國建設の爲に短歌の領域から貢獻しようなどの標識は立てない。緩動的に居ますのである、影とは父母の切なる願であり、憶ひである、然しそれは私の力で生きてゐるのではない、一遍に生きかさむと願ふ切なる父母のたゆみなき念力のお蔭にほかならない。

父母なくして私が生れる事はない父母なくして私が育つと云ふ事はない、私のあるところ、形に影のそふやうに父と母とが常に居ますのである、影とは父母の切なる願であり、憶ひである、然しそれは私の力で生きてゐるのではない、一遍に生きかさむと願ふ切なる父母のたゆみなき念力のお蔭にほかならない。

父母の親に深まる毎日毎日積る頭の霜眼がうとくなり耳が遠くなり、腰が曲り行く父母、その姿は一体私にどんなことを物語つてゐるのであらう、父母の老いますは私の育つ姿にほかならない、私が私の育つ身を思ふとき父母の老います姿を思はずには居れない父母の老いこそひとへに私に捧げ給ひし親の生命のあらはれである、父母の老いることなくし

父

酒村哲純

（一）

私が生れる事はない父母なくして私が育つと云ふ事はない、私のあるところ、形に影のそふやうに父と母とが常に居ますのである、影とは父母の切なる願であり、憶ひである、然しそれは私の力で生きてゐるのではない、一遍に生きかさむと願ふ切なる父母のたゆみなき念力のお蔭にほかならない。

父母の親に深まる毎日毎日積る頭の霜眼がうとくなり耳が遠くなり、腰が曲り行く父母、その姿は一体私にどんなことを物語つてゐるのであらう、父母の老いますは私の育つ姿にほかならない、私が私の育つ身を思ふとき父母の老います姿を思はずには居れない父母の老いこそひとへに私に捧げ給ひし親の生命のあらはれである、父母の老いることなくし

日本は敗けた、今後日本の進路はどんなに苦しいものであらうとも、しかし富士の姿は不滅の生命を私達人に捧げてつくし果高な美をあり、日本國民の勤勞は此の世を去りたまふのである、文化線は統制は厳しい、軍閥二切を子のために捧げつくして喜びつゝ、ほゝえんで下さる親である、悲しけれど親の死は嘆きの中にあるのである。

▼…日本の女性よ、勇敢に、大地に多の足を踏みつけて、若き名藥を去り一歩一歩前進すべきだ

（三森虎樹）

化粧品、間型洗劑
甘味料、京人形
小間物、各種雑貨
お買物は皆様の!!
平市四丁目三四（電話二六八番）

キヤリ印クスリ
◎…大乙膏
◎…生盛素
◎…胃腸藥
◎…カゼ藥
◎…濕布藥
生盛藥劑株式會社
福島縣總代理店
湯本町郊外長倉
生盛堂

税務相談
帳簿記決算
計理
更併合
設立資增
會社
藥原計理事務所
藥原徹
計理士代務税士
平市場土
電八一五番

産婆　猪狩正子
平市五町目電話四九一番